

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/04/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



供給不安と需要不安が交錯して不安定

NY原油先物相場は、1バレル=100ドル台前半でやや上値の重い展開になった。「供給不安」と「需要不安」が交錯する中、不安定な値動きになった。4月18日の取引では改めてロシア産の供給不安が材料視され、109.20ドルまで上値を切り上げる展開になった。3月28日以来の高値を更新している。北アフリカのリビアで供給障害が発生したこともポジティブ。一方で、その後は国際通貨基金（IMF）が世界経済の成長率見通しを引き下げたこと、中国で新型コロナウイルスの感染被害が続いていることが警戒され、100ドル台前半で上値を圧迫されている。

IMFは4月19日に改定した世界経済見通しで、2022年の実質成長率を3.6%と、前回1月時点の予測から0.8%引き下げた。世界的なインフレ、それに対応するための各国の利上げ、戦争の長期化などが、世界経済の減速懸念を高めている。これは当然に原油需要見通しに対しては下振れリスクになり、原油相場の上値は圧迫された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月15日時点）は、原油が前週比802万バレル減、ガソリンが76万バレル減、石油精製品が266万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給不安と需要不安で売買交錯気味、高値圏で方向性を探る

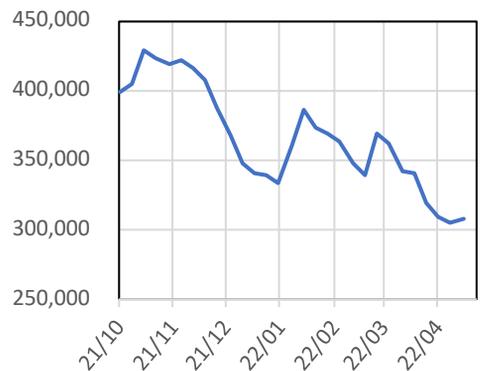
「供給不安」と「需要不安」が交錯する中、高値圏で方向性を打ち出しづらくなっている。三角保合相場が続いており、次の方向性を探る展開になり易い。ロシア産の原油供給環境は時間の経過とともに悪化する見通しであり、代替供給先の確保が困難な問題は維持されている。一方で、主要消費国である中国では新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、需要見通しの悪化が需給ひっ迫リスクを軽減している。100ドル割れでは押し目買いが入り易いが、上昇局面では早めに利食い売りが膨らみ易い。

ウクライナではロシア軍の攻撃が激化しており、欧州ではロシア産原油の禁輸措置を巡る議論が活発化している。ドイツ政府内でも、今夏までに輸入量を半減、年末までに停止といった案も浮上している。国際エネルギー機関（IEA）は、5月以降にロシア産の供給量が半減するとの見通しを示しているが、高いレベルの供給不安は維持されている。

石油輸出国機構（OPEC）は引き続き特別な増産対応を拒否している。米エネルギー情報局（EIA）によると、5月の米タイトオイル生産量は前月比で日量13.2万バレルの増加見通しであり、増産ペースの鈍化・加速共に想定されていない。

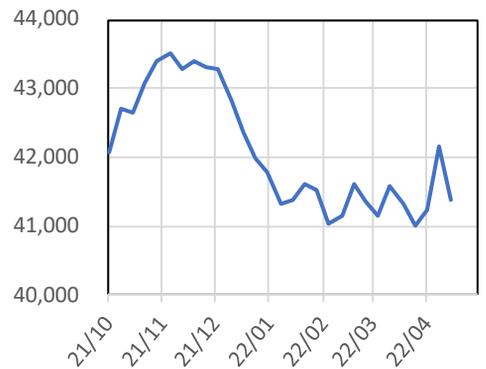
ただ、中国では「ゼロ・コロナ」政策が有効に機能していない可能性が高く、ロックダウン（都市封鎖）の対象都市が増え続けている。このため、「供給不安の買い」と「需要不安の売り」が交錯し易くなっている。中国のコロナ感染被害が拡大し続けている間は、大きく上値を切り上げることは難しい情勢になる。また、5月3～4日の米連邦公開市場委員会（FOMC）に向けて、米金利上昇・ドル高圧力が強まった際には、下振れリスクが高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



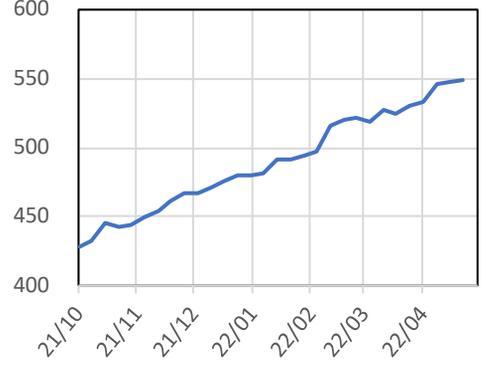
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

